

接着系アンカー(有機系・打込み型・ガラス管式)

認証取得者	日本デコラックス株式会社	
所在地	〒480-0103 愛知県丹羽郡扶桑町柏森字前屋敷 10	
連絡先	Tel:0587-93-2411 Fax:0587-91-1070	
商 品	ケミカルアンカー・PG(-N)タイプ	
接着剤の材質	変性ビニルエステル樹脂	
認 証 種 類	タイプ C	
認証番号	第 19-0014 号	
認証有効期間	2020年2月4日～2025年2月3日	

別 添 資 料

【カプセル容器の形状、寸法、許容差】

品 番	カプセル径 (mm)	カプセル長 (mm)	樹脂量 (g)	アンカー筋	ドリル径(mm)		穿孔深さ(mm)	
					径	許容差	穿孔深さ	許容差
PG-10N	10.5±0.5	78±3.0	9.1 (5.0~5.5)	M10	12.0	-0~+0.4 (ドリルビットの 公差とする)	90	-0~+3.0
				D10	12.5		90	
PG-13N	13.0±0.5	98±3.0	17.2 (10.8~11.8)	M12	14.5		110	
				D13	16.0		110	
PG-16N	16.5±0.5	119±5.0	30.5 (18.7~20.5)	M16	19.0		140	
				D16	20.0		140	
PG-19N	18.0±0.5	167±5.0	51.5 (33.6~36.9)	M20	23.0		170	-0~+5.0
				D19	24.0		170	

【アンカー筋の強度、ねじの等級】

1. アンカー筋の引張強さ、規格降伏点、伸び率

材質記号	規格番号	引張強さ (N/mm ²)	規格降伏点 (N/mm ²)		伸び率 (%)
			鋼材の厚さ (mm)		棒鋼の径 (mm)
			16 以下	16 を超え 40 以下	25 以下
SS400	JIS G3101	400~510	245 以上	235 以上	20 以上
SD295A	JIS G3112	440~600	295 以上		16 以上
SD345	JIS G3112	490 以上	345~440		18 以上

2. アンカー筋のねじの等級

(8g もしくは 3 級) またはそれ以上の等級とする。

接着系アンカー(有機系・打込み型・ガラス管式)

認証内容

構成部品	項目 1	カプセル容器		材質	ガラス				
				形状	別添資料による。(当製品は容器の外側に硬化剤成分が塗装された形状であるため、製品形状を保持するための保管環境条件として、温度：0～30℃及び湿度：20～70%の範囲で保管することを条件として定めた。)				
				寸法及び許容差	別添資料による。				
				製品重量及び許容差	別添資料による。				
製品	項目 2	接着剤の材質		主材	変性ビニルエステル樹脂	硬化剤	過酸化ベンゾイルと無機充填材の混合物	骨材	粉末骨材
		接着剤の強度		$\tau_{fu} \geq 10\sqrt{\sigma_B/21}$ (N/mm ²) に対して、95%以上の信頼性を有している。 [記号] τ_{fu} ：付着強度計算値 (N/mm ²)、 σ_B ：母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) (また、製品形状を保持するための保管環境条件として、温度：0～30℃及び湿度：20～70%の範囲にて最小、中心、最大値の9通りの組み合わせにて接着剤の強度評価を行った)					
	項目 5	アンカー筋の材質		メートル並目ねじ：SS400 (M10, M12, M16, M20) 異形棒鋼：SD295A(D10)、SD345 (D13, D16, D19)					
アンカー筋の表面処理		アンカー筋に防食が必要な場合は、表面処理を施す。表面処理は、原則としてクロメートめっき、亜鉛めっきとする。							
製品	項目 7	ドリルの種類		ハンマードリルとする。					
		ドリル径と許容差		別添資料による。					
	項目 8	穿孔深さと許容差		別添資料による。					
	項目 10	母材の設計基準強度の範囲		18 N/mm ² 以上、36 N/mm ² 以下					
	項目 11	環境条件 (固着後)		外気温-5℃以上、80℃以下とする。					
	項目 12	引張耐力算定式		破壊形式に応じて適用する式(1) から式(3) に対して 95%以上の信頼性を有している。 $T_{\infty} = 0.23\sqrt{\sigma_B \cdot A_c}$ …式(1)、 $T_{cb} = \tau_a \cdot \pi \cdot d_a \cdot \ell_e$ …式(2)、 $T_{tu} = \sigma_u \cdot a_o$ …式(3) 「記号」 T_{∞} ：コーン破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_B ：母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) A_c ：コーン状破壊面の有効水平投影面積 (mm ²) (= $\pi \cdot \ell_e \cdot (\ell_e + d_a)$) T_{cb} ：付着破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) τ_a ：付着強度 (N/mm ²) で、次式による。(= $10\sqrt{\sigma_B/21}$) ℓ_e ：アンカー筋の有効埋込み長さ (mm) (= $L - d_a$) L ：アンカー筋の埋込み長さ (mm)、 d_a ：アンカー筋の外径 (mm) T_{tu} ：アンカー筋が破断したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_u ：アンカー筋の素材の材料強度 (N/mm ²) (= $1.1\sigma_y$) σ_y ：アンカー筋の規格降伏点 (N/mm ²) a_o ：アンカー筋の最小断面積 (mm ²)					
項目 14	せん断耐力算定式		次式に対して、95%以上の信頼性を有している。 $Q_{mc} \geq 0.4\sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \cdot s_a a_o$ ただし、 $500 \leq \sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \leq 900$ (N/mm ²) $Q_{tu} \geq (\sigma_u / \sqrt{3}) \cdot s_a a_o$ [記号] Q_{mc} ：母材コンクリートの支圧破壊により定まるあと施工アンカーのせん断耐力計算値 (N) E_c ：母材コンクリートのヤング係数 (N/mm ²) σ_B ：母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) $s_a a_o$ ：アンカー筋の最小断面積 (mm ²) Q_{tu} ：アンカー筋のせん断破壊により定まるせん断耐力計算値 (N) σ_u ：アンカー筋の素材の規格引張り強さ (N/mm ²)						
以下は、オプション評価項目である。									
構成部品	項目 4	アンカー筋関連	種類	メートル並目ねじ (JIS B0205) 種類と呼び名 (径) は別添資料による。 異形棒鋼 (JIS G3112) 種類と呼び名 (径) は別添資料による。					
			先端形状	寸切りとする。					
			外観	1) 油、きりかすなど異物が表面に付着していないなど、アンカー筋表面に定着を阻害するものがないこと。 2) ナットを嵌合する部分のねじが損傷していないこと。					
	項目 6	強度	降伏点・引張り強さ・伸び率	別添資料による。					
製品	項目 9	母材の種類	ねじの等級	別添資料による。					
			母材の種類	普通コンクリートとする。					

[注] 項目 1～14は、評価認証審査項目を示す。